

# カトリック仙台司教区

## 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗  
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12  
カトリック仙台司教区事務局  
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378  
1) 義援金振替口座:02260-9-2305  
名義:カトリック仙台司教区本部事務局  
2) 支援金振替口座: 00170-5-95979  
名義: カリタスジャパン

東日本大震災の後、東北の被災地はこの夏、初めてのお盆を迎えました。仙台教区の教会においても8月15日の被昇天祭のミサの中で、犠牲となられた方々のためのミサが捧げられました。

また、仙台教区サポートセンターの各ベースでも、犠牲者をしのぶための様々な行事の支援を行いました。



ブラジル人を中心とした浜松教会からのボランティアの方々が、バーベキューを担当し、残りのボランティアたちは、子どもたちのおもちゃ配りをして、大変喜ばれました。花火大会においては、カリタスジャパンからのメッセ



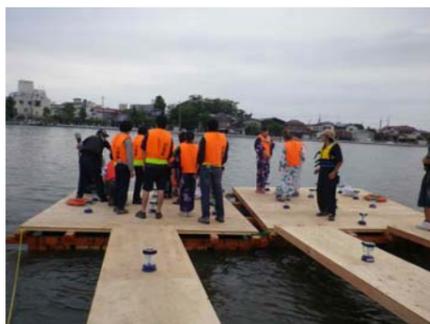
ージが読み上げられました。これに対し、区長さんと漁協長さんは、「希望が持てました。これで、私たちが頑張っていけます」と大変喜ばれました。全国の皆さんからの善意、届いています！

### 石巻ベース、ボランティア 灯籠づくりをお手伝い



7月31日、石巻を流れる旧北上川の川開きの前夜、灯籠流しが行われました。今回の地震と津波で亡くなられた石巻の方々のご冥福を祈り、1万個の灯籠がボランティアの手によって作られ、カヌーに灯籠を積み、火をともしながら、次々に川面に流されていきました。

石巻市では、3,000人以上が亡くなられました。一万個の灯籠には、犠牲者一人ひとりへのメッセージが家族や友人たちによって書かれています。



灯籠が静かに流れる中、僧侶が犠牲者の名前を読み上げ、皆は手を合わせて祈りをささげました。

### 浦戸諸島 桂島 夏祭り 花火大会

8月13日(土)、塩釜市の浦戸諸島の桂島で、今回の震災や津波で亡くなられた人々の鎮魂のために花火大会が行われました。これは、島のためのお祭りで、他で行われる花火大会のように、外部の人を受け入れて行われるものとは違います。そのため、ボランティアの人々も、3つの団体のみに限られていました。その中に、仙台教区サポートセンター・カリタスジャパン塩釜ベースも含まれていました。



### 釜石復興祈願祭

東日本大震災から5ヶ月目にあたる8月11日～14日まで、釜石市中心部の青葉通りおよび青葉公園において、釜石復興祈願祭が開催されました。

釜石青年会議所、ロータリークラブ、カリタスジャパンなど13団体が釜石の復興を願い協力したものです。

釜石ベースでは、1週間前から会場となる青葉通りの清掃を行なう等、様々な準備を支援しました。

8月11日は震災から5か月目の命日。2時46分にサイレンが鳴り響く中、多くの人々が黙とうをささげました。釜石教会聖堂においても同時刻に祈りの集いを開き、ボランティアたちと共に冥福を祈りました。



3,000本のキャンドルをともし、釜石の再起を祈り、願いや想いを託すというもので、キャンドルは、地元小学生や父兄が一生懸命手作りしました。また、鎌倉の教会からも手作りのローソクが届けられました。

「釜石」の文字がろうそくによって描かれ、通りにも次々と火がともされ、そのキャンドルの光の中を復興を願うゆかた姿の人々がゆっくり歩き回る姿が見られました。このゆかたも、復興を願うカリタスジャパン等の団体から寄せられたものでした。

釜石ベースの報告には、「釜石復興祈願祭は、悲しみをかき消すように、明るく、美しく、華やかでした。青葉通りを照らした希望の灯り・光が、復興を願う一人ひとりの心に灯りますように！」と全国の皆さんの気持ちを表す祈りで結ばれています。

